

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

放送日時：7月11日～8月10日

月・水・金・日 9:30・20:30

火・木・土 12:30・20:30

■FMよっかいちで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。

放送日時：7月10日・24日 8:54・14:54



シズオ・Z・クワハラさん

平成21年7月からジョージア州オーガスタ交響楽団の音楽監督を務め、7月18日に四日市市文化会館でコンサートを開く、シズオ・Z・クワハラさんにお話を伺いました。クワハラさんは、東京で生まれて間もなく四日市へ引っ越し、10歳で渡米するまで四日市で育ちました。

○四日市で過ごした幼少期

小さい頃の私は、すごく泣き虫だけど電車を見せに行ったら泣き止むほど電車が大好きな子どもだったと、親から聞いています。小学校時代は三岐鉄道で暁小学校に通っていたので、電車好きの自分にとっては夢のような時間でした。

幼少期から音楽教室に通っていましたが、その頃は、まさか自分が音楽家になるとは、思ってもいませんでした。



小学4年生時のクワハラさん
(四日市市内にて)

○渡米～音楽の世界へ～

アメリカに渡った私は英語が話せなかったため、コミュニケーションが取れませんでした。友達を作るために始めたのが野球と音楽で、すぐにサクソに夢中になって、1日8時間も練習していました。

将来の夢は野球選手か建築家だったのですが、野球選手はアメリカ人に体格で劣っていたことが理由で断念し、建築家は英語に自信が無かったため、諦めました。半ば逃げるような形で進んだのが音楽の道でしたが、今ではこれが運命だったのかなと思います。

○指揮者・音楽監督として世界で活躍

イーストマン音楽院を経てエール大学音楽科に進学しましたが、オーケストラの編成ではサクソが無かったため、簡単そうに見えた指揮の勉強を始めました。改めて考えると怖いもの知らずだったその選択が、今の自分につながっているのだと思います。

現在は、ジョージア州オーガスタ交響楽団の音楽監督として、演奏会のプログラムや団員のオーディションなど、楽団の芸術面全てに関わる仕事をしています。



○ふるさと四日市への想い

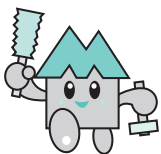
名古屋で公演がある時は、四日市に帰って来たりします。四日市では、小学校時代の同級生と過ごすことが多いですね。内部・八王子線があすなろう鉄道として再出発したという話を聞いて、ぜひ乗ってみたいと思いました。

四日市に帰るたびに思うのは、自分が世界で経験したことや感じたことを持ち帰って、ふるさとの皆さんに音楽で伝えたいということです。そのためにも、これから音楽の世界でますます頑張っていきたいと思っています。



有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労

四日市支部

随時加入者募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金 (42万円)
葬祭費 (本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助 (3万3千円)
脳ドックに対する補助 (2万円) など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。